

清水大使、大手肥料企業 Achema 社を訪問

2月2日、清水大使はリトアニア中部ヨナバ市の大手肥料企業 Achema 社を訪問し、同社のクスキテ (Ms. Audronė Kuskytė) CEO と面会しました。Achema 社はバルト三国で最大の窒素肥料・関連化学製品企業であり、その製品は40か国以上に輸出されています。年間の肥料生産能力は2百万トンに上ります。

■Achema 社の特徴

- 農業市場と工場市場双方への供給：Achema 社は現代農業に不可欠な窒素肥料（尿素、硝酸アンモニウム、UAN 溶液を含む）の生産に注力しているほか、工場向けにアンモニア、硝酸、ホルマリン、尿素ホルムアルデヒド・メラミン樹脂、工業用ガス及び硫酸アルミニウム溶液などの工場向けの関連化学製品も製造しています。
- グローバルな商品展開：製品の約36%はリトアニア国内で販売され、残りはフランス、ポーランド、ドイツ、イギリス、オーストラリア、ベネルクス諸国、スカンジナビア諸国、南北アメリカ諸国、アフリカ諸国など、世界各地に輸出されています。
- 柔軟な運送ネットワーク：Achema 社を傘下に収める Achema Group は鉄道、港湾企業を経営しているため、製品の運送に柔軟性を持たせられています。
- エネルギー効率化の取組：2023年に送風機の改修により20%の電気消費量削減を実現、2024年には6.7MW のソーラーパネルを設置するなど、環境への配慮、省エネの取組を強化しています。
- 爆薬生産計画：近年の地政学的変化に対応するため、Achema 社の工場で爆薬を生産する計画が進んでいます。フィージビリティスタディは既に終了し、2029年を目処に爆薬の生産を開始する予定です。

■日本企業との提携

Achema 社は日本企業との提携に非常に前向きであり、特に以下の分野での提携を歓迎するとしています。

- ・ 各種肥料や農薬を配合する専門肥料メーカーで、完全水溶性の硝酸アンモニウム、尿素、硝酸カルシウムアンモニウム製品に関心を持つ企業
- ・ 硝酸アンモニウムに関心を持つ乳化爆薬メーカー
- ・ 軍事用爆薬に関心を持つ防衛メーカー

■まとめ

Achema 社は多様な肥料関連製品を製造し、自前の運送ネットワークを活かしてグローバルに商品を展開していることが特徴です。肥料、乳化爆薬および軍事用爆薬の分野において同社との今後の提携に御関心がある方は、ぜひ御連絡ください。